

クォーター制導入の運用方法について

2015.7.17

1. 試合時間は、15分・2分休・15分…10分休…15分・2分休・15分とする

《休憩時間の運用について》

- A. 第1ピリオドと第2ピリオドの間、第3ピリオドと第4ピリオドの間の2分間の休憩については、1分30秒の時点で審判員が笛

を吹き選手の再入場を促し、2分経過した時点で試合開始の笛を吹く。この時、例えば選手の陣容が整っていない場合でも試合を開

始する。

- B. 第2ピリオドと第3ピリオドの間の10分間の休憩(ハーフタイム)については8分の時点でホーンを鳴らし選手の再入場を

促し、10分については8分の時点でホーンを鳴らし選手の再入場を促し、10分経過した時点で試合開始の笛を吹く。この

時、例えば選手の陣容が整っていない場合でも試合を再開する。

2. 得点時は20秒、PC時は40秒、時間を止めることとするが、どちらの場合もその時間以内にセットできれば、20秒、40秒待

たずに再開してもよい。各チームは速やかにセットすることが望ましい。

PCの再開、時間の開始は、アンパイアの笛の合図による。

※ 順位の決定方法について

グループリーグは、通常の順位決定方式に則って行う。決勝トーナメントは延長戦を行わず、規定時間内で同点の場合は、全てSO 戦で勝敗を決定する。